

§ SIDS発生のmaternal factor, ante-peri-natal factor

日本医科大学 産婦人科

室岡 一

昭和56年1月から昭和57年12月までに当院で出産した828例を対照に調査中である。現在までにSIDS、あるいはabortive SIDSと思われる症例の通知を受けていない。

そこで昭和57年度は前年度に示したPerinatal Risk Factors to SIDSのうちmaternal Factor, ante, peri-natal Factorの中から、今後SIDSのprospectiveな調査に参考となるような産科側の検討資料を以下に示す。

- (1) 妊娠中の喫煙をMaternal Factorのうちから選び、本年度は表1について調査した。喫煙妊婦112例の児の出産体重は平均 3016 ± 394 gで、対照の非喫煙妊婦1318例の児の平均出産体重 3184 ± 381 gに比較すると、前群が低くなっている($p < 0.01$)。1日10本以内の喫煙群では 3044 ± 384 g、11本以上の喫煙群では 2844 ± 426 gで明かに児への影響が認められ、SFDの出生も喫煙群では14例(12.5%)、10本以内の喫煙群が9例(9.4%)。11本以上の喫煙群は5例(31.2%)で、対照の52例(3.9%)と比べると、明かに喫煙群、とくに1日11本以上の喫煙群にSFDの出生が多い($p < 0.01$)。このことからSIDS、abortive SIDS発生の遠因になることが考えられる。今後喫煙群の中からSIDS、abortive SIDSが発生しないか調査をprospectiveにすすめる(表1)。
- (2) Ante-, Peri-Natal Factorの中ではfetal distressについて今回調査した。胎児が子宮内で突然死を起こすのはfetal distressが大部分である。最近では胎児心拍数図からその診断の信頼性が高く評価されるようになった。fetal distressと診断される心拍数図の所見は100bpm以下の徐脈、遅発一過性徐脈、高度変動一過性徐脈、心拍数基線細変動消失などであるが、これらが出現してから1時間以内に児を娩出すれば、そのApgar scoreもよく、今回の調査でも表2に示すように23例中21例までがApgar score 8点以上で仮死を伴っていない。しかしこれらの所見が現れてから1時間以上経ての児娩出では新生児仮死は9例中6例(66.7%)と多く、児死亡例もある。そこでこのようなfetal distressの心拍数図を示し、しかも幸に生存し得た児、とくに1時間以上経過した例にSIDS、あるいはabortive SIDSの発生が起るのでなかろうかと考えられる。これらの症例は長期間に亘って子宮内で胎盤機能低下からfetal anoxiaが軽く持続したと考えられ、したがって、表3に示すようにSFDの発生が多く、平均出産体重も対照に比し低い($p < 0.01$)。今後はとくにこのような症例について、prospectiveな追跡調査をすすめてゆく予定である。
- (3) 男児の発生が女児より高いといわれる。本産科病棟で発生した新生児仮死を昭和50~55年に亘って調査した成績は表に示すように各年度とも男児に多い。その原因を求めるために臍帯血の2・3-DPGを測定した所、表に示す結果が得られ、女児の方が2・3 DPG量が有意に高く、hypoxic stressに強いのであろう。(表5)

表5 臍帯血における2,3-DPG量の男女差

性別	例数*	Hb量 (g/dl)	2, 3-DPG量	
			Whole blood 当り (μ Moles/ml)	赤血球 当り (μ Moles/ml RBC)
男	15	16.0 \pm 1.5	2.12 \pm 0.22	4.56 \pm 0.38
女	15	15.9 \pm 1.8	2.48 \pm 0.17	5.12 \pm 0.27

* 妊娠37週以上:42週未満で出産した2,500g以上の
児について調べた

t = 4.65, P < 0.01



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昭和 56 年 1 月から昭和 57 年 12 月までに当院で出産した 828 例を対照に調査中である。現在までに SIDS、あるいは abortiveSIDS とと思われる症例の通知を受けていない。

そこで昭和 57 年度は前年度に示した Perinatal Risk Factors to SIDS のうち maternal Factor, ante, peri-natal Factor の中から、今後 SIDS の prospective な調査に参考となるような産科側の検討資料を以下に示す。